

令和2年第2回定例会12月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。本会議は午前10時から開会します。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越しください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症対策の観点から、会議については、原則マスクを着用し、換気等の措置を実施の上行いますので、ご理解とご協力をお願いします。  
風邪症状（熱、咳、くしゃみ、鼻水等）のある方は、傍聴をご遠慮願います。

発 言 順 位

12月7日（月）

- (1) 松井 久美子 議員（公明党）…………… P1
- (2) 森 勝子 〃（維新の会）…………… P2
- (3) 大西 洋紀 〃（未来明石）…………… P3
- (4) 三好 宏 〃（自民党真誠会）…………… P4
- (5) 国出 拓志 〃（公明党）…………… P6
- (6) 筒泉 寿一 〃（維新の会）…………… P7
- (7) 丸谷 聡子 〃（未来明石）…………… P8

12月8日（火）

- (8) 石井 宏法 議員（自民党真誠会）…………… P10
- (9) 尾倉 あき子 〃（公明党）…………… P11
- (10) 北川 貴則 〃（維新の会）…………… P12
- (11) 井藤 圭順 〃（自民党真誠会）…………… P13
- (12) 飯田 伸子 〃（公明党）…………… P14
- (13) 林 健太 〃（自民党真誠会）…………… P15
- (14) 辰巳 浩司 〃（自民党真誠会）…………… P16

12月9日（水）

- (15) 坂口 光男 議員（自民党真誠会）…………… P17
- (16) 楠本 美紀 〃（日本共産党）…………… P18
- (17) 吉田 秀夫 〃（フォーラム明石）…………… P20
- (18) 林 丸美 〃（明石かがやきネット）…………… P21
- (19) 家根谷 敦子 〃（スマイル会）…………… P22
- (20) 辻本 達也 〃（日本共産党）…………… P23
- (21) 竹内 きよ子 〃（明石かがやきネット）…………… P25

※順位については予定です。

発言順位	1	議員名	松井久美子（公明党）
発言事項	<p><b>1 リカレント教育と生涯学習の支援について</b></p> <p>(1) リカレント教育（社会人の学び直し）への支援について  （要旨）働き方改革による自己研さんに使える時間の増加、デジタル化に対応するためのスキルアップや、コロナ禍による雇用環境悪化を懸念した資格取得に挑戦する動きの高まりなどを受けて、リカレント教育（社会人の学び直し）への支援が必要である。</p> <p>(2) コロナ禍における高齢者の生涯学習に対する支援について  （要旨）感染拡大への懸念により、高齢者の学びの機会が減少していることから、コロナ禍における高齢者の生涯学習に対する支援体制の構築が必要である。</p> <p><b>2 HPV（子宮頸がん予防）ワクチンの定期接種の状況について</b></p> <p>(1) HPVワクチンの接種に係る国の動向について  （要旨）HPVワクチンは、平成25年4月1日から法律に基づく定期接種として実施されているが、一部の接種者に疼痛等の症状が出たことにより、現在は積極的な接種勧奨は差し控えられている。現在の国の動向について問う。</p> <p>(2) 本市における子宮頸がんやHPVワクチンの定期接種に関する情報周知について  （要旨）子宮頸がんの増加が指摘されていることから、対象者とその家族に対して子宮頸がんやワクチンの定期接種に関する情報を周知し、予防接種を受ける選択肢を示すことが重要である。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症の拡大による定期予防接種（乳幼児法定予防接種）の特例延長実施について  （要旨）新型コロナウイルス感染症の拡大により、HPVワクチンを含む定期予防接種の接種時期の特例延長実施に取り組むべきである。</p> <p><b>3 災害に備えた神戸地方気象台との連携について</b></p> <p>(1) 気象台長とのホットラインの活用について  （要旨）神戸地方気象台では、地域の災害に備えるため、気象台長による首長訪問を重要業務の1つとして位置付けている。重大な災害発生のおそれがある時は、気象台長から首長に直接電話で説明するホットラインもある。それらの活用について問う。</p> <p>(2) 本市と神戸地方気象台との連携について  （要旨）災害に備えて、平時からの本市（総合安全対策室）と神戸地方気象台との連携が大変重要である。</p>		

発言順位	2	議員名	森 勝子(維新の会)
発 言 事 項	<p><b>1 子供達の教育について</b></p> <p>(1) GIGAスクール構想について            (要旨) 来春からのタブレット端末を活用した授業に向けての準備は万全でしょうか。教員の研修や家庭学習のための環境整備など、様々な課題は解消できているのでしょうか。今後の取組も併せてお聞かせください。</p> <p>(2) 塾代助成制度(塾代バウチャー)について            (要旨) 塾代助成事業は、教育格差の是正を目的とし、子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、子供達の学力、学習意欲、個性や才能を伸ばす機会を提供するため、他市でも評価されています。本市でも導入してはいかがでしょうか。市の見解をお聞かせください。</p> <p>(3) 明石市としての人権教育について            (要旨) 人権尊重は、民主主義の基本中の基本です。特に拉致問題は解決できておらず、大きな問題です。地方公共団体の責務として、拉致問題なども人権教育として積極的に取り上げていくべきではないでしょうか。市の見解をお聞かせください。</p> <p><b>2 認知症患者と家族への支援について</b></p> <p>(1) 認知症を取り巻く現状について            (要旨) 認知症患者と家族を取り巻く現状、市の取組についてお聞かせください。</p> <p>(2) 認知症患者による事故等に対する安全網について            (要旨) 増え続ける認知症患者に対する手厚い支援策として、患者本人が起こした事故の損害賠償を地方自治体が保険でカバーする動きなどが出てきています。本市もぜひ導入してはいかがでしょうか。市の見解をお聞かせください。</p>		

発言順位	3	議員名	大西 洋 紀 (未 来 明 石)
発 言 事 項	<p>1 議案第103号 令和2年度明石市一般会計補正予算（第8号）「こども医療費助成事業費」について</p> <p>(1) 事業費として補正予算に1,500万円を計上することについて  (要旨)本市のこども医療費助成は、現在、明石市こども医療費の助成に関する条例により、満15歳を迎える年度末までの子供を対象として助成している。条例改正議案が提案・可決されていないにもかかわらず、条例から逸脱した助成を行うための補正予算を計上することは認められない。</p> <p>(2) 12月議会にシステム改修経費を計上する理由について  (要旨)仮に将来的に条例改正議案が可決されるとしても、来年度の事業着手を予定しているのであれば、12月議会にシステム改修経費を計上しなくても、令和3年度当初予算を審議する来年3月議会に計上すればよいのではないか。</p> <p>(3) 議会に対して事業計画の情報提供や協議をしないことについて  (要旨)この案件については、9月議会において他の議員の質問に対する答弁で議会との協議を強調していたにもかかわらず、情報提供や協議もせず、なぜこのようなイレギュラーな補正予算を計上するのか。</p>		

発言順位	4	議員名	三好 宏 (自民党 真誠会)
発 言 事 項	<p><b>1 新型コロナウイルス感染症の影響について</b></p> <p>(1) 感染拡大が続いている現状について (要旨) 全国的に感染が拡大し、市内でも感染者数が増加しているが、現状認識と今後の対応について聞く。</p> <p>(2) 令和3年度の予算編成と今後の税収確保について (要旨) 感染拡大が続く中、地域経済は復興半ばであり、市民生活も日常を取り戻していないのが現状である。まだまだ新型コロナウイルス感染症に対応した予算が必要であるが、令和3年度予算の編成において財源は確保できる見込みなのか。 また、コロナ禍の影響で税収が大きく落ち込むことが予想されるが、令和4年度の財源確保も含め、今後の財政状況の見通しを聞く。</p> <p>(3) こども医療費助成事業について (要旨) 議案第103号において、こども医療費無償化の対象年齢を18歳まで拡充するためのシステム改修費が計上されている。システム改修費だけの提案となった経緯と、今後の財政の見通しが不透明な状況下での本事業の緊急性と必要性を問う。</p>		
	<p><b>2 明石市公設地方卸売市場の再整備について</b></p> <p>(1) 卸売市場施設の現状について (要旨) 卸売市場は、明石の食の台所として、安全で安心、新鮮で良質な食材を市民に提供していることに加え、平成27年に指定管理者制度を導入し、市場内の業者が一致団結して給食食材の提供や海外販路の開拓など様々な取組をしている。一方、施設は、昭和51年の開設以来40年以上が経過し、建屋は耐用年数が過ぎ、耐震基準も満たしておらず、老朽化が著しいと聞き及んでいるが、市の認識を問う。</p> <p>(2) 卸売市場の将来展望について (要旨) 加古川市の公設地方卸売市場が閉鎖されることが報じられているが、加古川市の業者が本市の卸売市場への移転を望んでいると聞いている。本市の市場にとっては、取扱高も増え、商圈エリアの拡大にも繋がり、さらなる飛躍も期待できる。こうした状況を踏まえて、本市の市場の将来展望を問う。</p>		

発言順位	4	議員名	三好 宏 (自民党 真誠会)
発言事項	<p><b>3 石ヶ谷スマートインターチェンジと明石テクノパークについて</b></p> <p>(1) 石ヶ谷スマートインターチェンジについて  (要旨) 現在、市内大久保北部を通る第二神明道路に接続する神戸西バイパスの延伸計画が進行している。石ヶ谷スマートインターチェンジの設置が検討されているようだが、これは明石の将来にとって大きなチャンスと捉えている。本市も誘致に向けて積極的に動くべきだと考える。実現の可能性と市の認識を問う。</p> <p>(2) 石ヶ谷地区の市有地を活用した明石テクノパークについて  (要旨) 石ヶ谷地区には本市が所有する市有地が約19万㎡ある。隣接する遊休地である私有地を含めれば50万㎡となり、県立明石公園と同等の広さとなる。交通アクセスの利便性を生かしてテクノパーク(工業団地)を設置すれば、地域経済の発展、雇用の促進、法人税・固定資産税等の増、さらには人口増が見込めることが明白である。また、有事の際には防災拠点にもなり得る。自然と共生するテクノパークの設置を推進するべきだと考えるが、市の認識を問う。</p>		

発言順位	5	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p><b>1 20代、30代の施策について</b></p> <p>(1) 特別臨時職員採用について  (要旨) コロナ禍を共に乗り切っていくため、本市独自の画期的な工夫と、抜本的かつ斬新な発想により、本市の特別臨時職員としての採用をぜひ実現していただきたい。</p> <p>(2) 一人暮らしの若年者に対して家賃補助をしないか。  (要旨) 本当に大変な生活を強いられているこの世代に対して、特に一人暮らしの方への家賃補助を市としてぜひ実現していただきたい。</p> <p>(3) 自殺を考えている方に対する市としてのさらなる取組について  (要旨) 自殺予防対策は、まだまだ工夫の余地はあるものと考えます。例えば、SNSのようなツールの活用や、24時間の相談受付体制の構築なども検討してはどうか。</p> <p>(4) 今後の市の取組方針について  (要旨) 特に20代、30代の市民が本当に明石に住んでいてよかった、ずっと住み続けたいと心から思えるような、今後の市の取組方針について聞く。</p>		

発言順位	6	議員名	筒泉 寿一(維新の会)
発言事項	<p><b>1 環境問題に対する取組について</b></p> <p>(1) 深夜のゴミ回収実施について  (要旨) 深夜にゴミを回収することにより、地域の防犯パトロールにもつながり、防犯に関する人件費等の経費削減にもなると考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(2) 環境意識を醸成する取組について  (要旨) 自然環境に対する畏敬の念が低下していると感じる。志ある環境意識の醸成に向け、小中学校の授業の一環として現状に即した自然環境に関する教育を実施することについて、市の見解を問う。</p> <p><b>2 高齢者施策の在り方について</b></p> <p>(1) 高齢者のための環境づくりについて  (要旨) 民間企業等と連携し、生きがいづくりや、健康寿命を伸ばすための取組を推進するなど、高齢者にとってよりよい生活環境の構築していくことについて、市の見解を問う。</p>		



発言順位	7	議員名	丸谷 聡子(未来明石)
発言事項	<p><b>1 工場緑地面積率の緩和の議論が出ている明石市の緑のあり方について</b></p> <p>(1) 明石市の特性を踏まえた緑のあり方について  (要旨) 本市は国からSDGs未来都市に選定されたが、市域が狭く、工業地域と住宅地域が密接している。本市の緑のあり方について、市の見解を問う。</p> <p>(2) 市民生活への影響や本市の施策との整合性について  (要旨) 地域環境、自然環境、気候変動等、様々な市民生活への影響や「明石市の環境の保全及び創造に関する基本条例」をはじめ「明石市環境基本計画」「生物多様性あかし戦略」「明石市地球温暖化対策実行計画」「気候非常事態宣言」等、市の環境施策との整合性について、市の見解を問う。</p> <p>(3) 明石市工場緑地のあり方検討会について  (要旨) 本年3月議会の総務常任委員会で設置することが報告された「(仮称)緑のあり方に関する検討会」の現在の状況について、市の見解を問う。</p> <p>(4) 市民参画や地域住民への意見聴取について  (要旨) 「明石市市民参画条例」に基づいた市民参画や地域住民の意見を聞くことについて、どのように進めていくのか、市の見解を問う。</p> <p>(5) 緑のガイドライン策定や敷地外緑地制度等の導入について  (要旨) 市民や企業の緑地及び環境に関する意識が高まる中、質の高い緑地の確保は、企業の成長にとっても不可欠である。そのためには、堺市のような緑のガイドライン策定や敷地外緑地制度導入などが必要であると考えるが、企業の地域貢献や負担のあり方について、市の見解を問う。</p> <p><b>2 市立幼稚園における特別支援の体制について</b></p> <p>(1) 介助員の配置について  (要旨) 個別の支援が必要な園児に対して配置される介助員について、今年度から、1対1の配置ではなく幼稚園ごとの配置になっているが、なぜ基準が変わったのか、市の見解を問う。</p> <p>(2) 幼稚園の人員配置について  (要旨) 支援が必要な園児数は、一昨年度と比較して本年度は2倍近くになっているが、介助員は増えていない。介助員の増員やフリー教諭の配置などの体制強化が急務であると考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	7	議員名	丸谷 聡子(未来明石)
発言事項	<p>(3) 個別通級指導を行う「つくしの部屋」について  (要旨) 市内9園で開設されている個別通級指導を行う「つくしの部屋」の体制について、支援が必要な園児が増えている状況から増設が必要であると考え、市の見解を問う。</p> <p>(4) 「サポートノートかけはし」の活用について  (要旨) 明石市立発達支援センターが発行している「サポートノートかけはし」は、支援のツールとして活用されているのか。また、活用する際には、情報の管理、教諭・介助員間での十分な引継ぎなどが適切に行われているか、市の見解を問う。</p> <p><b>3 こどもの命を真ん中にした「こどもの居場所」づくりについて</b></p> <p>(1) こどもの居場所について  (要旨) こどもたちが、生きているだけで素晴らしいと感じられる居場所として、まずは、公設民営のフリースクールのような地域で育ち合う居場所が本市にも必要であると考え、市の見解を問う。</p>		

発言順位	8	議員名	石井 宏法 (自民党 真誠会)
発言事項	<p><b>1 明石の豊かで美しい海の実現について</b></p> <p>(1) 大久保下水処理場放流水の海域への直接放流について  (要旨) 令和2年9月議会において、明石の豊かで美しい海の実現に関する請願を全会一致で採択したが、各法律(下水道法・水質汚濁防止法・瀬戸内海環境保全特別措置法)及び県条例(環境と保全と創造に関する条例)等を踏まえ、豊かな海づくりに最適な方策を問う。</p> <p><b>2 SDGsの取組について</b></p> <p>(1) 自律的好循環を生み出す仕組みについて  (要旨) SDGsの目標達成のためには、行政と民間事業者、金融機関が連携することにより、本市が抱える社会的課題を持続的に解決することにつながると考えるが、市の見解を問う。</p> <p><b>3 市民まつりについて</b></p> <p>(1) 市民まつり開催に向けた協議の再開について  (要旨) 市民と行政と一緒に協議を行うことができる場の設置について、市の認識を問う。</p>		

発言順位	9	議員名	尾倉 あき子 (公明党)
発言事項	<p><b>1 「認知症にやさしいまち明石」の推進について</b></p> <p>(1) 「認知症あんしんプロジェクト」の取組について  (要旨) コロナ禍で認知症の症状が悪化している人がいると聞くが、10月から開始した「認知症あんしんプロジェクト」の実施状況と今後の取組について聞く。</p> <p>(2) 地域で認知症の人や家族を支える取組について  (要旨) 今年の3月議会にて質問したチームオレンジを見据えた認知症サポーターの養成、認知症カフェなど、地域で認知症の人や家族を支える取組の進捗状況を聞く。</p> <p><b>2 新型コロナウイルス感染拡大第3波の地域経済に与える影響と今後の支援について</b></p> <p>(1) 第3波による地域経済への影響について  (要旨) 新型コロナウイルス感染拡大第3波の地域経済への影響はどのようなものと認識をしているのか、市の見解を聞く。</p> <p>(2) 第3波の影響に対する今後の地域経済への支援について  (要旨) 新型コロナウイルス感染拡大で地域経済へのさらなる影響が予想される。今後の支援について、市としての考えを聞く。</p>		

発言順位	10	議員名	北川 貴 則 (維 新 の 会)
発 言 事 項	<p><b>1 コロナに負けない生活支援について</b></p> <p>(1) 経済困窮の現状と救済策について  (要旨) 新型コロナウイルス感染再拡大により、深刻な雇用危機が迫っています。市民に最も身近な基礎自治体として、相談業務において市民の苦境を把握し、経済困窮を理由として自ら命を絶つことがないように、命を救う施策を展開するべきではないか。市民の生命を守るための生活困窮支援の現状についてお聞かせください。</p> <p><b>2 福祉の充実について</b></p> <p>(1) 施設職員による暴力の追放について  (要旨) 残念ながら本市でも介護施設職員による高齢者への暴力が明らかになりました。なぜ福祉の要である施設職員は変貌してしまったのでしょうか。安心して暮らせるまちづくりに不可欠な再発防止策をお聞かせください。</p> <p><b>3 「日本一安全なまち明石」の実現のための危機管理について</b></p> <p>(1) 鳥インフルエンザ対策について  (要旨) 淡路島の養鶏場で鳥インフルエンザの感染が確認されました。万が一、鳥から人、人から人への感染が起こると、新型コロナ以上の致死率となる可能性もあり、人類最悪のパンデミックとなるかもしれません。今回の感染源は、渡り鳥などの野鳥と言われており、本市でも発生する可能性があります。本市の取組をお聞かせください。</p>		

発言順位	11	議員名	井藤圭順（自民党 真誠会）
発言事項	<p><b>1 中学校コミュニティセンターについて</b></p> <p>(1) コミセンエリアマネージャーについて  (要旨) 本市では、令和元年度より一部の中学校区コミセンにおいて、所長ではなくエリアマネージャーの配置を行ってきた。その成果と今後の取組について、本市の見解を聞く。</p> <p><b>2 子ども・子育て支援事業について</b></p> <p>(1) 放課後児童クラブの受入体制について  (要旨) 本市の放課後児童クラブは、就学前保育施設における待機児童対策の影響もあり、入所者数が年々増加している。今後も増加する見込みであるため、受入教室の確保など課題が山積しており、早急な対応が迫られていると考えるが、本市の見解を聞く。</p> <p>(2) 保育施設における待機児童対策の中長期計画について  (要旨) 保育施設の大幅な拡充などの待機児童対策により、本市における待機児童数は改善の見込みである。この状況を踏まえ、明石市立就学前教育・保育施設再構築基本計画の見直しを行うなど、中長期的な計画が必要と考えるが、本市の見解を聞く。</p>		

発言順位	12	議員名	飯田 伸子(公明党)
発言事項	<p><b>1 新型コロナウイルスワクチン接種体制の整備について</b></p> <p>(1) 本市の取組方針について  (要旨) 10月に厚生労働省より新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業の実施要領についての通知があったが、本市の取組方針を問う。</p> <p>(2) 現状及び今後のスケジュールについて  (要旨) 本市における新型コロナウイルスワクチン接種体制整備の進捗状況と今後のスケジュールについて問う。</p> <p><b>2 障害者支援について</b></p> <p>(1) 障害者優待乗車券の福祉タクシー利用券について  (要旨) 本市在住の障害者に交付されている福祉タクシー券は1回につき500円券2枚までという利用制限があるが、当事者や介護者から、利用制限を撤廃し自由に使えるようにしてほしいとの声がある。本市の見解を問う。</p> <p>(2) タイムケア事業について  (要旨) 本市におけるタイムケア施設については、対象者が18歳未満とされており、18歳以上の障害者が利用できないことから、家族の負担が大きくなる場合がある。タイムケア施設の対象年齢の拡大が必要だと考えるが、見解を問う。</p>		

発言順位	13	議員名	林 健太 (自民党 真誠会)
発言事項	<p><b>1 LINEを活用したデジタル行政の推進について</b></p> <p>(1) LINEを活用したデジタル行政の推進について  (要旨) 今や8,400万人が利用しているLINEを活用し、情報、防災、行政手続きサービス等の行政機能の利便性を高める必要があると考えるが、本市の見解を問う。</p> <p><b>2 学校施設について</b></p> <p>(1) 学校プール授業の民間委託について  (要旨) 年間の稼働日数が極めて少ない学校のプールを廃止し、水泳授業を民間委託することにより、プール敷地を有効活用できないか、市の見解を問う。</p> <p>(2) 屋上断熱化について  (要旨) 全教室にエアコンが設置されている本市において、屋上を断熱化することにより節電効果が期待できるが、市の見解を問う。</p> <p>(3) ウォータークーラー設置について  (要旨) 熱中症対策として、また、おいしい水のまち・あかしの教育実地場所として、市内小中学校にウォータークーラーを設置しないか、市の見解を問う。</p>		



発言順位	14	議員名	辰 巳 浩 司 (自民党 真誠会)
発 言 事 項	<p><b>1 コロナ禍における地域経済の動向と対応について</b></p> <p>(1) 本市の地域経済への影響について  (要旨) 新型コロナウイルス感染症が本市の地域経済に与えた影響をどのようなものと考えているのか、お聞かせください。</p> <p>(2) 本市の地域経済回復に向けた取組について  (要旨) 地域経済回復に向けた本市の取組とその効果について、お聞かせください。</p> <p><b>2 自転車を活用したにぎわいづくりについて</b></p> <p>(1) 自転車の活用推進について  (要旨) 国の「自転車活用推進法」の施行並びに県の「兵庫県自転車活用推進計画」の策定を受けて、本市ではどのような取組を進めていくのか、お聞かせください。</p> <p>(2) サイクリングロードの活用について  (要旨) 交流人口の拡大や地域の活性化等、さらなるまちの好循環を生み出すために、景観の良い海岸線を活かしたサイクリングロードを活用していくべきと考えるが、本市の認識をお聞かせください。</p>		

発言順位	15	議員名	坂口 光 男 (自民党 真誠会)
発 言 事 項	<p><b>1 高齢者福祉について</b></p> <p>(1) 高齢者介護施設における入所待ちの解消について            (要旨) 第7期介護保険事業計画の検証を踏まえ、第8期計画における特別養護老人ホーム入所の待機者解消について、どのような強化策を考えているのかを問う。</p> <p>(2) 高齢者福祉施設での入所者への虐待防止について            (要旨) 10月19日、市より虐待事案についての発表があったが、その後の進捗、再発防止策を問う。</p> <p>(3) 高齢者の就労支援について            (要旨) 就労を希望する方への情報提供・あっせんについて、市独自の計画や目標を設定し、重点施策として取り組むことについての認識を問う。</p> <p>(4) 介護保険事業について            (要旨) 65歳以上の第1号被保険者で、介護保険を利用せず、行政・地域の健康維持・増進イベントに積極的に参加している方を応援する施策として何らかのインセンティブを付与すべきと考えるが、その認識を問う。</p> <p><b>2 地域コミュニティの醸成について</b></p> <p>(1) 自治会・町内会の未結成、未加入世帯の増加について            (要旨) 本市は、昭和50年のコミュニティ元年の宣言以降、全国に先駆けてコミュニティづくりに力を注いできたが、近年、自治会・町内会の未結成・未加入率が年々増加傾向となり、歯止めがかかっていない。認識と今後の取組を問う。</p>		

発言順位	16	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発言事項	<p><b>1 介護保険サービスの充実で誰もが安心して暮らせる老後を</b></p> <p>(1) 地域密着型特別養護老人ホーム・特別養護老人ホームの増設を。  (要旨) サービス付き高齢者向け住宅では要介護度の高い利用者の受入れは難しいのではないかと。また、有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅は、収入の低い方が利用するのは難しいのではないかと。</p> <p>(2) 第7期介護保険事業計画において在宅介護サービスは充実したのか。  (要旨) 介護心中・介護殺人、介護退職、介護難民など問題が山積しているが、第7期計画において在宅介護サービスは充実したのか。また、次期第8期計画への課題はどのようなことが考えられるのか。</p> <p>(3) 第8期介護保険事業計画における介護保険料の見通しは。  (要旨) 2000年に始まった介護保険制度において、第1期は全国平均で2,911円だった介護保険料が、第7期では5,869円にまで大幅に引き上げられている。明石市の第8期計画における介護保険料の見通しはどうか。</p> <p>(4) 新型コロナ対策に係る介護報酬特例措置による利用者の負担増について  (要旨) 9月議会での利用者の負担軽減を求める質問に対し、「国に対し利用者の負担軽減に向けた要望を行う」との答弁があった。その後の状況を聞く。</p> <p><b>2 無料低額診療事業について</b></p> <p>(1) コロナ禍で医療機関を受診できない方が増えているのではないかと。  (要旨) コロナウイルス感染症が世界的に広がり1年がたとうとしている。感染は収まるどころか、第3波と言われる状況になっている。この間、倒産、廃業、失業、減給などで生活の苦しい方が増えている。医療費が払えないため医療機関を受診しない方が増えているのではないかと。</p> <p>(2) 無料低額診療所について  (要旨) 医療費を払えず受診ができない方に対して無料低額診療制度がある。市内には無料低額診療を実施している病院はあるのか。また、近隣市町ではどうか。</p> <p>(3) 無保険者に対してどうするのか。  (要旨) 保険証の交付を行った上で、自己負担分(3割)を無料低額制度で助成することになるのか。</p>		

発言順位	16	議員名	楠本美紀(日本共産党)
発言事項	<p>(4) 制度内容を広く知らせる方法について  (要旨) 地域総合支援センター、国民健康保険課、生活福祉課等に相談に来られた方の中で該当されると思われる方に制度内容を知らせていただきたい。広報あかしに掲載し、周知してはどうか。</p> <p><b>3 保育所待機児童解消について</b></p> <p>(1) 待機児童解消の現状と見通しについて  (要旨) 今年度、待機児童数の算定方法を変更した理由を聞く。また、待機児童数については、今後もこの状態が続いていくのか。解消に向けた見通しはどうか。</p> <p>(2) 子どもたちに最善の環境を。  (要旨) 高架下に建設予定の保育所について、振動、騒音等の影響はないのか。また、園庭のない保育所では、健全な発育・発達を保障できるのか。</p>		

発言順位	17	議員名	吉田 秀夫 (フォーラム明石)
発言事項	<p><b>1 明石市の高齢者・障害者福祉の充実について</b></p> <p>(1) 福祉施設の充実に向けた取組について  (要旨) 超高齢社会を迎えるに当たって、市民に最も身近な基礎自治体として、市民が高齢となった際、介護が必要となった際、障害を有した際などでも、誰もが不安なくいつまでも安全に暮らすことができる環境が必要であると考えます。</p> <p>(2) 人材の確保や質の向上などの環境整備に向けた取組について  (要旨) 高齢・介護・障害などの観点から施設、人材などの総合的な福祉の充実に係る環境整備に向けた今後の取組や方針について聞く。</p> <p>(3) 在宅医療と介護の連携について  (要旨) 昨年の9月議会で定期巡回・随時対応型訪問介護看護の普及について質問した。今後は次期の介護保険事業計画を策定する中で検討していくと答弁をされたが、現在の進捗状況を聞く。</p> <p><b>2 新型コロナウイルス感染症に対する医療体制の拡充について</b></p> <p>(1) 医師やスタッフ、防護服、マスク等の確保について  (要旨) 医師、看護師、医療技術者、医療資材(マスク、防護服等)の確保状況について聞く。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染者の受入れ・治療・療養の医療体制について  (要旨) 県内のコロナ感染者の症状ごとの受入れや、治療・療養といった医療体制の拡充についての認識を問う。</p> <p>(3) ICU並びに人工心肺装置エクモ(ECMO)の設置について  (要旨) 一般医療との両立、並びに重症者の一時的な受入れや入院している中等症・軽症者の重症化対策のために、プレハブやコンテナ等を用いてエクモを備えたICUを市内に設置すべきと考える。</p> <p>(4) PCR検査体制の強化について  (要旨) 発熱外来の増設やドライブスルー方式によるPCR検査の実施、全自動遺伝子解析装置の導入等についての認識を問う。</p> <p><b>3 ひとり親への雇用の提供について</b></p> <p>(1) ひとり親を対象とした職員採用について  (要旨) 本市の正規職員、任期付職員、会計年度任用職員等への優先的な採用についての認識を聞く。</p>		

発言順位	18	議員名	林 丸 美 (明石かがやきネット)
発 言 事 項	<p><b>1 子育てのまちとしての魅力を高める自然環境整備について</b></p> <p>(1) 今後の緑の在り方について  (要旨) 「子育てのまち」としてブランドイメージが確立された本市だが、手厚い子育て施策もさることながら、町なかに残されている自然環境も子育てに適したまちの魅力であると考え。車両基地や工場緑地面積率などの議論がある中で、緑の在り方について、市の見解を問う。</p> <p>(2) 公園緑地について  (要旨) 公園緑地は、市民にとって身近な自然で、子供が遊ぶ場所としても欠かせません。コロナの影響により、市の緑の基本計画の次期計画策定も延期されているが、現段階での取組の進捗状況、課題について問う。</p> <p><b>2 新型コロナ禍における地域の医療・検査体制について</b></p> <p>(1) 地域の医療サービスについて  (要旨) 地域医療を支える一般病院・診療所において、診察拒否、また患者の受診控えが起きている。新型コロナ感染症ではない病気に罹患しても安心して医療サービスを受けられる体制を整えなければならぬが、市の見解を問う。</p> <p>(2) 行政検査（PCR検査及び抗原検査）について  (要旨) 市の検査体制と市民への広報について、現状を問う。</p> <p>(3) 学校園や放課後児童クラブ等における対応について  (要旨) 集団の中で陽性者が発生した場合、濃厚接触者や検査対象者に対する説明が不十分であり、不安であるとの声を聞く。無用な誤解やうわさを広げないためにも、丁寧に説明し、問合せ窓口等について明示する必要があると考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	19	議員名	家根谷 敦子(スマイル会)
発 言 事 項	<p><b>1 安全安心なまちづくりのさらなる推進について</b></p> <p>(1) 避難所での要支援者への障害種別に応じた対応方法について  (要旨) 災害発生時に要支援者が避難する場合、本市ではまず一般避難所へ避難することが前提である。しかし、その後の必要な支援は障害種別によって様々であり、障害種別ごとの支援方法を事前に想定し、準備しておく必要がある。市民の安全安心なまちづくりに向け、市の考えをお尋ねしたい。</p> <p><b>2 高齢者・障害者施策について</b></p> <p>(1) 補聴器購入費用の助成について  (要旨) 加齢による難聴に対し、耳からの情報を補聴器で補うことで、高齢者の日常生活における安全が確保できる。認知症予防にもつながるため、本市としても助成を検討するべきだと考えるが、現在の取組と今後の方針など、市の考えをお尋ねしたい。</p> <p>(2) 地域で安心して暮らせる施設整備について  (要旨) 本市では、高齢者・障害者施策においてソフト面では多様な支援に取り組んでいると認識している。しかし、ハード面では、高齢者や障害者に対する支援が少ないことから、地域で安心して暮らせるよう整備が必要と考える。市の考えと今後の取組をお尋ねしたい。</p> <p><b>3 副籍制度について</b></p> <p>(1) 副籍制度について  (要旨) 未就学障害児について、保護者から子供の発達や障害に合わせた教育環境と地域交流ができる環境の両方が経験できるよう求める声が上がっている。特別支援学校に在籍する児童生徒が、居住する地域の学校にも在籍し、交流を通じて地域とのつながりを継続するという副籍制度の保育所や幼稚園における取組についてお尋ねしたい。</p>		

発言順位	20	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p><b>1 こども医療費助成について</b></p> <p>(1) 医療費無償化の対象年齢拡充に係る市の認識について (要旨) 市長の認識を問う。</p> <p>(2) 必要な財源について (要旨) 見解を問う。</p> <p><b>2 公文書の管理と情報公開について</b></p> <p>(1) 公文書の管理に係る認識について (要旨) 文書管理規程に基づき適正に行われているか。</p> <p>(2) 公文書の管理に係る新たなシステムの構築について (要旨) 公文書の電子的管理を進めるべきと考える。</p> <p>(3) 情報公開条例の適正な運用について (要旨) 担当職員の恣意的な判断により公開するか否かの判断が行われていないか。</p> <p><b>3 高丘小中一貫校と30人学級について</b></p> <p>(1) 地元に対する説明について (要旨) 保護者や地元住民から、いまだに市教育委員会から詳しい説明がないことに対する不安の声がある。</p> <p>(2) 学校の統廃合について (要旨) 小中一貫校設置の最大の目的は、学校の統廃合ではないかと不安視する声がある。</p> <p>(3) 小中一貫校のメリットとデメリットについて (要旨) 設置目的がよく分からないと不安の声がある。</p> <p>(4) 現場の教職員の声について (要旨) 方向性がよく分からないという声がある。教職員に対して十分な説明は行われているか。</p> <p>(5) 30人学級の拡大について (要旨) なぜ、高丘だけ30人学級なのかといった不公平感が広がり始めている。市内全ての小中学校で30人学級を実施することについて、方向性や計画を明らかにするべきである。</p> <p><b>4 新型コロナウイルス感染症対策について</b></p> <p>(1) 市内の感染者の状況と今後の見通しについて (要旨) 市内の感染状況について保健所はどのように捉えているか。感染ルートの把握と陽性者の追跡は行われているか。</p>		



発言順位	20	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p>(2) 年未年始の対応について  (要旨) 市民への啓発と保健所の体制について認識を問う。</p> <p>(3) 病床数の確保と医療機関への支援について  (要旨) 市内の感染症専用病床数の現状と必要な病床数について問う。</p> <p>(4) クラスタ対策について  (要旨) 医療機関、介護・福祉施設、保育園・幼稚園、学校、放課後児童クラブなど、クラスタが発生すれば多大な影響が出る施設等に対して定期的な「社会的検査」を行うべきである。</p> <p>(5) 慰労金の支給について  (要旨) コロナ感染リスクが高い医療機関や介護施設従事者には慰労金が支給されているが、同じ医療関係者であっても調剤薬局や鍼灸院などには支給されていない。保育士や放課後児童クラブ支援員を含め、支給対象者を広げるべきと考える。</p>		

発言順位	21	議員名	竹内 きよ子（明石かがやきネット）
発言事項	<p><b>1 自殺予防の取組について</b></p> <p>(1) 本市の自殺者数の現状について  (要旨) 新型コロナ禍で全国的に自殺者数が急増していると報道されているが、本市の現状はどのようなになっているのか、市の見解をお聞きします。</p> <p>(2) 自殺対策計画における課題解決について  (要旨) 様々な自殺のリスク要因を抱える人への相談体制は多岐にわたっているが、どのような課題と解決策があるのか、市の見解をお聞きします。</p> <p>(3) ゲートキーパーの養成について  (要旨) 自殺や精神疾患に係る正しい知識の普及や、市民の参画と協働による啓発活動を推進し、早期発見・早期対応を図るため、ゲートキーパーの役割を担う人材の養成が不可欠であるが、市の見解をお聞きします。</p> <p>(4) 明石の子供の自殺をゼロにする取組について  (要旨) 新型コロナ禍の中、大人だけでなく子供の自殺者も増え、また、自殺未遂も増えている状況であると聞いています。子供たちに対して、本市はどのような啓発活動をしているのか、市の見解をお聞きします。</p> <p><b>2 新型コロナ禍の教育現場における子供たちがのびのびと学校生活を送ることができる環境整備について</b></p> <p>(1) 少人数学級を段階的に検討してはどうか。  (要旨) 新型コロナ禍の中、GIGAスクール構想による学習用端末の管理棚が設置され、教室が狭くなっている状況もあることから、小学6年生と中学3年生において35人学級を検討してはどうか、市の見解をお聞きします。</p> <p>(2) 生徒指導相談員の増員について  (要旨) 現状を考え、子供たちが落ち着いて安定した学校生活を送ることができるよう、中学校13校において1名ずつ増員してはどうか、市の見解をお聞きします。</p> <p>(3) 給食費の公会計化について  (要旨) 教職員が授業に専念し、子供たちに目が行き届くようにするためには、学校給食費の公会計化が必要であると考えますが、市の見解をお聞きします。</p>		